

# 米沢興讓館高校SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール

集まっていた海外からの留学生



平成26年7月15日(火)、山形大学工学部100周年記念会館において、本校理数科3年生徒及び山形大学工学部に在籍している留学生による英語での合同研究発表会「米沢興讓館サイエンスフォーラム in 山大」が開催された。昨年度までの学校設定科目「サイエンスコミュニケーション」や「海外研究者招聘による英語での講演会」、「台湾海外研修」等の種々の取り組みにより高めてきた「国際性」について、そのさらなる向上を目指して実施された。

当日は10数名の留学生やリーディング大学院生に集まっていた。本校研究グループそれぞれで英語でのポスター発表に英語で質問していただいた。生徒は英語で応答することを余儀なくされ、現在のリスニング力やスピーキング力を総動員し、四苦八苦しながら、それらの質問に回答していた。台湾海外研修での反省を踏まえ、身振り手振りのジユスチャーを交えながら一生懸命説明する様子をつかぐと、この1年で国際性を身に付け、コミュニケーション力を大きく成長させたことは間違いない。

## 山形大学の留学生と米沢興讓館高校生による英語での研究発表会

米沢興讓館サイエンスフォーラムを終えて3年理数科男子生徒(米沢四中出身) 今回の興讓館サイエンスフォーラムは、私達3年理数科による研究を英語でポスターセッション、そして山大留学生による英語での研究紹介という二部構成で行われました。自分たちの発表は反省点も沢山ありますが、台湾研修などの活動で培ってきたコミュニケーション力を発揮できたのではないかと思います。そして山大留学生の発表は、私は全て理解することはできませんでしたが、どれもハイレベルでも興味深いものでした。

この行事は、私たち今までの活動の集大成と言えるものでしたが、成功することができとても嬉しく思います。今まで私達に協力してくださった全ての方に感謝をしてこれからも科学に携わって行きたいです。



ホワイトボードも使いながら行った一生懸命な説明

英語での活発な質疑応答がなされている様子

### チャレンジの先に、なりたい自分がある

平成26年7月4日(金)、3年生理数科生徒を対象に、国際的な科学コンテスト等への積極的参加と受賞を目指す目的で、理科2領域(化・生)と数学について、国際科学技術コンテスト水準の(高校レベルを超える)問題に対応した講義や実験実習、問題演習等を行った。生徒の感想で受講の様子を振り返りたい。

第7回 全国数学選手権大会  
**数学甲子園2014** 化学グランプリ  
**日本生物学オリンピック2014**

ハイレベル実験講座を受講して3年理数科男子生徒(米沢一中出身) 7月4日、本校図書室にて数学のハイレベル実験講座を受講しました。内容は4チーム対抗で制限時間内に数学オリンピックの過去問を2題6セット解き正解数を競うというものです。数学的思考力を問う粒ぞろいの問題でしたが、仲間と協力して熱く楽しく取り組みました。数値が1ずれるなど悔しいミスもありましたが、結果としては2位に倍以上の点差をつけ、我々チーム「ハッピージャムジャム」(ゼロと読むらしい)が12問中7問正解し優勝することができました。この調子で数学チャレンジはもちろん8月の数学甲子園も予選を突破し、東京での本戦へ進み109を見て来たいです。今回得られた経験を糧に数学の極みを目指して精進していきたいと思えます。

### 伝えたい! 科学の楽しさこの感動

平成26年7月4日(金)、米沢市理科研修センターにおいて本校2年生理数科生徒を対象に、子ども達に向けた科学実験講座での実験手法や効果的な教授方法を学ぶ目的で、実験講座が開講された。生徒の感想では自らも随分楽しんだ様子があがった。

『科学の楽しさ』  
 2年理数科男子生徒(米沢四中出身) 子ども向け科学実験講座に参加させて頂き、『科学の楽しさ』を改めて学びました。僕たちはスライム作りや化粧水作りなどの七種類の実験をしました。普段の授業のように難しい理論はあまり考えず、目の前の不思議なものや現象の数々を体験し、純粋に楽しみました。ぼくは将来、米沢でんじろう先生のような科学の楽しさを伝える仕事をしたいと思っています。今回の講座を通して、その夢に一步近づけました。今度は実際に僕たちが子どもに向けて実験を教えていきます。今回学んだことを生かして、より多くの子ども達の理科を好きになる手伝いをしていきたいです。

